



## 2026年4月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年12月12日

上場会社名 株式会社ノバック 上場取引所 東  
 コード番号 5079 URL <https://www.novac-cnst.co.jp>  
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 大谷 敏博  
 問合せ先責任者（役職名） 取締役管理本部長 兼 経理部長（氏名） 中末 浩一（TEL）079-288-3601  
 半期報告書提出予定日 2025年12月12日 配当支払開始予定日 2026年1月13日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

## 1. 2026年4月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年5月1日～2025年10月31日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年4月期中間期	17,549	—	618	—	609	—	404	—
2025年4月期中間期	—	—	—	—	—	—	—	—

（注）包括利益 2026年4月期中間期 405百万円（—％） 2025年4月期中間期 ー百万円（—％）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年4月期中間期	78.44	—
2025年4月期中間期	—	—

（注）2025年4月期連結会計年度末より連結財務諸表を作成しているため、2025年4月期中間期の数値及び対前年同中間期増減率は記載しておりません。

## （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年4月期中間期	32,122	18,297	57.0
2025年4月期	25,956	18,189	70.1

（参考）自己資本 2026年4月期中間期 18,297百万円 2025年4月期 18,189百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年4月期	—	60.00	—	60.00	120.00
2026年4月期	—	60.00	—	—	—
2026年4月期（予想）	—	—	—	60.00	120.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2026年4月期の連結業績予想（2025年5月1日～2026年4月30日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	34,000	23.6	1,350	57.0	1,300	56.6	870	51.7	168.91

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料10ページ「2. 中間連結財務諸表及び主な注記(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2026年4月期中間期	5,202,800株	2025年4月期	5,202,800株
2026年4月期中間期	48,363株	2025年4月期	52,280株
2026年4月期中間期	5,151,580株	2025年4月期中間期	5,150,569株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(中間期)

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当中間決算期に関する定性的情報(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算期に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 中間連結貸借対照表 .....	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 .....	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	10
(セグメント情報等の注記) .....	10
3. 補足情報 .....	11
(1) 中間受注の概況 .....	11

## 1. 当中間決算期に関する定性的情報

当社グループは、2025年4月期連結会計年度末より連結財務諸表を作成しているため、前年同中間期連結累計期間との対比は行っておりません。

### (1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、米国関税政策の影響による一時的な投資意欲の低迷が見られたものの、雇用・所得環境の改善の動きが見られる中、個人消費や設備投資の持ち直しが見込まれております。その一方で、国内物価動向のほか米国の政策動向や地政学的リスクの影響等の懸念材料が見込まれ、依然として景気の先行きは予断を許さない状況が続いております。

建設業界におきましては、公共建設投資は国土強靱化計画のインフラ対策等により堅調に推移し、民間建設投資におきましても底堅く推移しました。その一方で、建設資材価格の高止まりや労務需給の逼迫、時間外労働の上限規制への対応が顕在化しており、引き続き厳しい事業環境が続いております。

このような状況の下、受注選別や利益向上に注力した結果、当中間連結会計期間の受注高は10,025,863千円となりました。売上高は、17,549,960千円、営業利益は618,119千円、経常利益は609,183千円、親会社に帰属する中間純利益は404,102千円となりました。なお、営業利益率は3.5%となりました。

セグメントごとの経営成績を示すと、次のとおりであります。

#### (土木工事業)

受注高は、5,186,654千円、売上高は4,851,880千円、セグメント利益(営業利益)は391,148千円となりました。なお、営業利益率は8.1%となりました。

#### (建築工事業)

受注高は4,839,209千円、売上高は12,690,866千円、セグメント利益(営業利益)は223,339千円となりました。なお、営業利益率は1.8%となりました。

#### (その他)

売上高は7,213千円、セグメント利益(営業利益)は3,631千円となりました。なお、営業利益率は50.3%となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当中間会計期間末の資産合計は、32,122,497千円と前連結会計年度末と比べ6,166,105千円(23.8%)の増加となりました。主な要因は、電子記録債権が1,153,986千円減少したものの、受取手形・完成工事未収入金等が8,368,290千円増加したことによるものです。

#### (負債)

当中間会計期間末の負債合計は、13,825,489千円と前連結会計年度末と比べ6,059,038千円(78.0%)の増加となりました。主な要因は、短期借入金5,530,000千円増加したことによるものです。

#### (純資産)

当中間会計期間末の純資産合計は、18,297,008千円と前連結会計年度末と比べ107,066千円(0.6%)の増加となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する中間純利益の計上404,102千円、剰余金の配当309,031千円などによるものです。

(キャッシュ・フローの状況の分析)

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末比751,037千円減少し、6,729,126千円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの主な要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、5,782,139千円の支出となりました。主な要因は、売上債権の増加が7,214,304千円あったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、142,697千円の支出となりました。主な要因は、有形及び無形固定資産の取得による支出が139,562千円あったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、5,173,799千円の収入となりました。主な要因は、配当金の支払額が309,031千円、短期借入金の増加が5,530,000千円あったことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年4月期の業績予想につきまして、2025年6月13日に公表いたしました「2025年4月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」に記載のとおりであり、業績予想は修正しておりません。

## 2. 中間連結財務諸表及び主な注記

## (1) 中間連結貸借対照表

(単位: 千円)

	前連結会計年度 (2025年4月30日)	当中間連結会計期間 (2025年10月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金預金	7,533,764	6,782,727
受取手形・完成工事未収入金等	13,093,576	21,461,866
電子記録債権	1,153,986	—
商品及び製品	30,668	33,357
未成工事支出金	199,665	141,278
材料貯蔵品	16,586	10,961
その他	928,654	568,157
流動資産合計	22,956,900	28,998,348
固定資産		
有形固定資産	2,451,305	2,575,841
無形固定資産	290,624	269,427
投資その他の資産	257,561	278,880
固定資産合計	2,999,491	3,124,149
資産合計	25,956,392	32,122,497
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	2,987,435	3,095,834
電子記録債務	2,077,381	2,394,937
短期借入金	91,644	5,621,644
未払法人税等	270,315	240,191
未成工事受入金	1,124,067	1,382,493
完成工事補償引当金	66,020	29,372
工事損失引当金	37,941	18,639
賞与引当金	173,207	225,277
役員賞与引当金	20,600	11,300
その他	430,877	366,824
流動負債合計	7,279,491	13,386,514
固定負債		
長期借入金	338,156	292,334
退職給付に係る負債	17,816	16,764
その他	130,986	129,876
固定負債合計	486,958	438,975
負債合計	7,766,450	13,825,489

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2025年4月30日)	当中間連結会計期間 (2025年10月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,227,864	1,227,864
資本剰余金	762,864	772,654
利益剰余金	16,200,276	16,295,347
自己株式	△5,505	△5,179
株主資本合計	18,185,498	18,290,686
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,443	6,321
その他の包括利益累計額合計	4,443	6,321
純資産合計	18,189,941	18,297,008
負債純資産合計	25,956,392	32,122,497

## (2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

## 中間連結損益計算書

(単位:千円)

	当中間連結会計期間 (自 2025年5月1日 至 2025年10月31日)
売上高	17,549,960
売上原価	16,013,024
売上総利益	1,536,935
販売費及び一般管理費	918,816
営業利益	618,119
営業外収益	
受取利息	1,813
受取配当金	267
雑収入	1,632
営業外収益合計	3,713
営業外費用	
支払利息	7,016
コミットメントフィー	5,632
営業外費用合計	12,649
経常利益	609,183
税金等調整前中間純利益	609,183
法人税、住民税及び事業税	205,081
法人税等合計	205,081
中間純利益	404,102
親会社株主に帰属する中間純利益	404,102



## 中間連結包括利益計算書

(単位：千円)

当中間連結会計期間 (自 2025年5月1日 至 2025年10月31日)	
中間純利益	404,102
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	1,878
その他の包括利益合計	1,878
中間包括利益	405,981
(内訳)	
親会社株主に係る中間包括利益	405,981

## (3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)	
当中間連結会計期間 (自 2025年5月1日 至 2025年10月31日)	
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税金等調整前中間純利益	609,183
減価償却費	25,937
のれん償却額	10,285
完成工事補償引当金の増減額(△は減少)	△36,647
工事損失引当金の増減額(△は減少)	△19,301
賞与引当金の増減額(△は減少)	52,070
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△9,300
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△1,052
受取利息及び受取配当金	△2,081
支払利息	7,016
コミットメントフィー	5,632
売上債権の増減額(△は増加)	△7,214,304
未成工事支出金の増減額(△は増加)	58,520
その他の棚卸資産の増減額(△は増加)	2,935
仕入債務の増減額(△は減少)	425,953
未成工事受入金の増減額(△は減少)	258,425
その他の流動資産の増減額(△は増加)	368,853
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△67,756
その他	△3,186
小計	△5,528,813
利息及び配当金の受取額	2,080
利息の支払額	△7,016
コミットメントフィーの支払額	△4,072
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△244,316
営業活動によるキャッシュ・フロー	△5,782,139
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
有形及び無形固定資産の取得による支出	△139,562
その他	△3,135
投資活動によるキャッシュ・フロー	△142,697

(単位:千円)

	当中間連結会計期間 (自 2025年5月1日 至 2025年10月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(△は減少)	5,530,000
長期借入金の返済による支出	△45,822
自己株式の取得による支出	△89
リース債務の返済による支出	△1,257
配当金の支払額	△309,031
財務活動によるキャッシュ・フロー	5,173,799
現金及び現金同等物に係る換算差額	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△751,037
現金及び現金同等物の期首残高	7,480,163
現金及び現金同等物の中間期末残高	6,729,126

## (4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

当中間連結会計期間(自 2025年5月1日 至 2025年10月31日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	土木工事業	建築工事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,851,880	12,690,866	17,542,746	7,213	17,549,960
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	4,851,880	12,690,866	17,542,746	7,213	17,549,960
セグメント利益	391,148	223,339	614,488	3,631	618,119

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業であります。

## 2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	614,488
「その他」の区分の利益	3,631
中間連結損益計算書の営業利益	618,119

## 3. 補足情報

## (1) 中間受注の概況

(単位: 千円)

項目		当中間連結会計期間 (自 2025年5月1日 至 2025年10月31日)	
		金額	構成比
受 注 高	土木工事業	5,186,654	51.7%
	建築工事業	4,839,209	48.3%
	計	10,025,863	100.0%